



新機能および変更された機能に関する情報

- [変更点 \(1 ページ\)](#)

変更点

この章では、このガイドで追加および変更された機能を示します。

表 1: 新機能および変更された機能

機能	追加または変更された内容	変更が行われたリリース	参照先
自動ゾーン	自動ゾーン機能とは、1つのコマンドでゾーン分割を自動化するメカニズムであり、32 Gbps 以上の速度のファイバチャネルインターフェイスをサポートするファブリックスイッチを最小限の労力で展開することを可能にするメカニズムでもあります。	8.3(1)	ゾーンの設定と管理
FLOGI スケール最適化	デフォルトの FLOGI 休止タイムアウト値が 2000 ミリ秒から 0 ミリ秒に変更されました。	8.3(1)	FLOGI、ネーム サーバ、FDMI、および RSCN データベースの管理
仮想マシン識別子 (VMID)	VMID のサポートにより、SAN ファブリック インフラストラクチャは、仮想マシン (VM) を一意に識別できます。	8.2(1)	FLOGI、ネーム サーバ、FDMI、および RSCN データベースの管理
FLOGI スケール最適化	FLOGI スケール最適化機能により、ユーザは、シャーシ全体の FLOGI スケールの上限値を増やすことができます。この機能は、Cisco MDS 9718 ディレクタでのみサポートされます。	8.1(1)	FLOGI スケール最適化

変更点

機能	追加または変更された内容	変更が行われたリリース	参照先
ゾーンサーバの機能拡張	次の機能によりゾーンサーバのパフォーマンスが強化されました。 <ul style="list-style-type: none"> • ゾーンサーバ FCNS 共有データベース • ゾーンサーバ SNMP 最適化 • ゾーンサーバ差分配信 	7.3(0)D1(1)	ゾーンの設定と管理
デバイスエイリアス差分限定配信	ファブリック内のすべてのスイッチでこの機能を有効にすると、拡張性が向上します。	7.3(0)D1(1)	DDAS
組織固有識別子	この機能により、組織固有識別子 (OUI) をシステム OUI データベースに動的に追加するための新しいコマンドが導入されました。	7.3(0)D1(1)	組織固有識別子
デバイスエイリアスコミットの確認 ゾーンコミットの確認	ゾーンおよびデバイスエイリアスのコミット時に保留中差分の表示が追加されました。	6.2(9)	DDAS ゾーンの設定と管理
FC および FCOE スケール：デバイスエイリアス	「デバイスエイリアス設定のベストプラクティスの概要」の項が追加されました。	6.2(9)	DDAS
Fibre Channel Common Transport 管理サーバクエリー	Fibre Channel Common Transport 管理サーバクエリーの設定	6.2(9)	Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの設定
FCNS、RSCN	FCNS データベース変更をリッスンするすべてのコンポーネントのパフォーマンスを向上する一括通知機能が追加されました。 RSCN のパフォーマンス向上のため結合 SWRSCN が追加されました。	6.2(7)	FLOGI、ネームサーバ、FDMI、およびRSCNデータベースの管理
	「ファブリックスイッチ情報の表示」の項が追加されました。	6.2(7)	ゾーンの設定と管理
スマートゾーン分割	コマンド出力が追加されました。	6.2(7)	ゾーンの設定と管理
スマートゾーン分割	「スマートゾーン分割」の項が追加されました。	5.2.6	ゾーンの設定と管理
FICON テープ読み取りアクセラレーション	「FICON テープアクセラレーション」の項が追加されました。	5.0(1a)	FICON の設定